

やぶき



平成31年
182号

議会だより

平成31年2月1日発行
第410回 臨時議会
第411回 12月定例会



- 議長年頭あいさつ
- こども議会
- 12月定例会・補正予算・質疑
- 410回臨時議会・賛否表
- 一般質問
- 研修視察・みんなのひろば

p 2

p 3

p 4

p 5

p 6～11

p12～14

成人式 テーマ『友』

～はばたけ 未来の扉はすぐそこに～

(表紙 成人式実行委員会の皆さん)

14ページに関連内容

迎春

町民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年中は矢吹町議会に対する深いご理解とご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。

矢吹町議会も平成25年から議会報告会（現在は報告会及び懇談会）の開催から始まり、平成27年には矢吹町議会基本条例の制定、前回の改選時から議員定数を2名削減し、定数14としました。平成29年には町民の代表としての自覚と責任をより一層強く持って活動するための、矢吹町議会議員政治倫理条例を制定し議員活動を行っております。又、議会定例会における一般質問では一問一答方式を採用し、本会議のインターネットでの録画配信を行う等、議会改革や議会活性化に努めております。

昨年はこれらの取り組みが評価され、県内と県外、二つの議



会からの視察研修の申し出があり、受け入れさせていただきました。今年も14名の議員全員で、より一層の議会活性化に取り組んで参ります。

今年も平成から新しい元号に変わります。矢吹町議会としても、矢吹町の新たな時代を見据え、議会での活発な議論を重ねながら、さまざまな課題に立ち向かい、解決して、町執行機関と車の両輪として共に協力し合いながら、町民の皆さんが夢と希望の持てる活気あふれる矢吹町の実現に向けて一生懸命取り組んで参りますので、今年も矢吹町議会を宜しくお願い申し上げますと共に、町民の皆さんのご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

矢吹町議会議長 **大木 義正**

議長年頭あいさつ



第13回子ども議会開催

矢吹町子ども議会が平成30年10月26日、矢吹町議会議場で開催されました。野崎町長ほか執行部、及び大木議長ほか議員が出席し、4小学校から選ばれた20名の子ども議員により進行され、8名の一般質問に対し、町長、教育長より、真摯な答弁がなされました。

主な質問事項

圓谷宇太（三神小）

年齢制限のない楽しめる場所を作る計画は。

町長 公園の整備や複合施設の整備を進めている。

関根なつ（三神小）

4小学校6年生の交流の場を作ってほしい。

教育長 4小学校の皆さんで相談して交流して下さい。その時の協力は惜しみません。

仲島千尋（中畑小）

通学路の県道に、街路灯と信号機の設置を願います。

町長 街路灯については、県及び電力と協議を進めている。信号機



発言席

については、県公安委員会に積極的に働きかける。

小林 葵（中畑小）

中畑小学校の雨漏りやトイレの修理、インターネットの不具合対策と優先順位について。

教育長 雨漏りについては部分的に補修します。インターネットは順次改善する計画。トイレについては、来年度に洋式に変えます。

山邊はな（矢吹小）

矢吹駅のイメージアップに照明と洋式トイレの設置を願う。

町長 照明については調査し整備する。トイレ



傍聴席

レについては、洋式化の検討を進める。

佐藤碧華（矢吹小）

矢吹小のシンボル、噴水の復活を願う。

教育長 現在、修理方法などの点検を行っている。3月までには修理を完了する。

石井一瑛（善郷小）

学校でも児童クラブでも、活動を自由に行われるよう施設を工夫できないか。

教育長 学校と児童クラブが両立できるように考えている。又、別の場所の確保についても調査したい。

根本乃衣（善郷小）

通学路の歩道整備・道路の拡幅を願う。



子ども議員の皆さん

町長 小学校区毎に優先順位を決めて、通学路整備を進めている。

（関連13ページ）

次回議会のご案内

3月定例会

○開 会

3月8日(金) 午前10時

○一般質問

3月11日(月)・12日(火)予定

●12月議会の傍聴者は合計22名でした。ありがとうございました。

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp

平成30年度 補正予算

12月定例会のあらまし

平成30年12月定例会は、12月7日から17日までの11日間の会期で開きました。

町長提出の議案17件、諮問1件及び議員発議1件を審議しました。

この他、議会への請願を1件審議しました。



予算委員会の様子

審査結果

議案第57号・矢吹町一般会計補正予算（第3号）

本案は、既定の歳入歳出予算に、それぞれ1億5881万3千円を追加し、総額を90億944万1千円とするともに、繰越明許費の設定及び地方債の補正を行うものであります。

審査の結果、全委員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

その他の補正予算

議案	会計別	補正額	審査の結果
第58号	国民健康保険特別会計	1,453千円減額	可決
第59号	公共下水道事業特別会計	8,956千円減額	可決
第60号	農業集落排水事業特別会計	981千円増額	可決
第61号	介護保険特別会計	33,508千円増額	可決
第62号	後期高齢者医療特別会計	44千円増額	可決
第63号	水道事業会計	収益的支出	可決
		資本的支出	

条例改正

議案	条例名	審査の結果
第48号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例	可決
第49号	矢吹町長等の給与及び旅費に関する条例	可決
第50号	職員の給与に関する条例	可決
第51号	矢吹町放課後児童クラブの設置及び運営に関する条例	可決
第52号	矢吹町立幼稚園預かり保育条例及び矢吹町子どものための教育保育給付に係る利用者負担額を定める条例	可決

指定管理者の指定

議案	施設名	指定管理者となる団体	審査の結果
第54号	矢吹町福祉会館	公益社団法人 矢吹町シルバー人材センター	可決
第55号	大正ロマンの館	シュークル	可決

審査結果

議案第55号 大正ロマンの館の指定管理者の指定について

本案は、大正ロマンの館に係る指定管理業務の指定期間が今年度で満了することから公募を行い、選定委員会で選定された指定管理候補者との指定管理業務の内容等の協議が整い、大正ロマンの館指定管理者に、矢吹町神田西123番地6「シユークル」を指定するものであり、指定期間を平成31年4月1日から平成34年3月31日までの3年間とするものである。

反対討論

現在の指定管理者の3年間の運営を鑑み、課題が多くあったと見受けられ、それらの緻密な検証を経た上で改めて指定管理制度による運営を提案すべきであることから反対する意見。

賛成討論

中心市街地の賑わい創出施設は必要であり、かつ歴史ある建物

を利用することにより、愛町心が芽生えることも期待されるので賛成する意見。

挙手採決の結果、賛成多数により可決すべきものと決定しました。

請願審査

請願第5号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願

本件は、後期高齢者医療制度において、医療費の自己負担分を2割へ引き上げないことを求める旨、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関に意見書を提出することについての請願であります。

反対討論

現在の医療制度を維持するには、世代間や同世代間における公平な負担をすべきであり、各自の負担能力に応じた負担をすべきであるという考えから反対する意見。

賛成討論

現在引き上げは検討段階であるものの、年金生活者にとっては2割への引き上げは負担

が大きいため賛成する意見。

挙手採決の結果、賛成多数により採択すべきものと決定しました。

第410回臨時会

議案第47号 (仮称) 矢吹泉崎バスストップ建築工事(上り線)請負契約の締結について

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づく制限付き一般競争入札に付した工事請負契約について下記により締結するため、地方自治法第96条第1項第5号の規定に基づき、議会の議決を求めめる。

- ① 契約の目的
(仮称) 矢吹泉崎バスストップ建築工事(上り線)
- ② 契約の方法
制限付き一般競争入札
- ③ 契約の金額
金51,840,000円
- ④ 契約の相手方
会社名
株式会社平成工業
代表取締役
小室 敏

原案の通り可決

第410回議会(11月) 臨時議案・第411回議会(12月) 定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

議案名称等	議員名 可否	大木義正	角田秀明	藤井精七	吉田 伸	熊田 宏	栗崎千代松	鈴木隆司	青山英樹	鈴木一夫	薄葉好弘	加藤宏樹	安井敬博	三村正一	富永創造
議案 第47号 (仮称) 矢吹泉崎バスストップ建築工事(上り線) 請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第48号 議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第49号 矢吹町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第50号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第51号 矢吹町放課後児童クラブの設置および運営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第52号 矢吹町立幼稚園預かり保育条例及び矢吹町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第53号 (仮称) 矢吹泉崎バスストップ駐車場整備工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第54号 矢吹町福祉会館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第55号 大正ロマンの館の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第56号 福島県市町村総合事務組合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第57号 平成30年度 矢吹町一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第58号 平成30年度 矢吹町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第59号 平成30年度 公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第60号 平成30年度 矢吹町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第61号 平成30年度 矢吹町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第62号 平成30年度 矢吹町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第63号 平成30年度 矢吹町水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問 第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第64号 平成30年度 矢吹町一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議 第3号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げを行わないよう求める意見書(案)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

学校教育について



うすば よしひろ
薄葉 好弘 議員

答 適切な対応と指導を行う

薄葉 (1)平成29年度に認知された当町のいじめの小中学校ごとの件数はどうなっているのか。

(2)不登校の小中学生並びに暴力行為の発生件数は。

学校ごとに実態はどうなのか。

(3)教育委員会は解決に向けてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等を活用し具体的にどのような対応を行っているのか。

教育長 過去3年間、本町の小中学校におけるいじめの認知件数は、平成27年度7件、平成28年度17件、平成29年度32件であり、年々増加傾向にある。

平成29年度の小中学校で認知したいじめの行為としては、悪口・冷やかしが最も多く、次いで、軽くぶつかる、遊ぶふりでたたく、仲

間はずれ等である。

平成29年度の不登校報告件数につきまして、矢吹小学校、中畑小学校、三神小学校はそれぞれ0件であり、善郷小学校は2件、矢吹中学校は14件の報告を受けている。

暴力行為の発生件数は小中学校共に0件である。

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用ですが各小中学校に1名ずつ配置しており、平成29年度のカウンセリング件数は172件、全体の24・3%を占めています。スクールソーシャルワーカーは教育委員会で1名配置しており、学校で対応が難しいケースについても補完的に課題解決に取り組んでいる。

薄葉 (1)新たな建設予定地の選定作業は、具体的にどこまで進んでいるのか。

(2)新たな建設候補地が選定されたとすれば、今後建設に向けた整備計画のスケジュールは具体的にどうなっているのか。

(3)八幡町地内に購入した土地は、協力頂いた地権者との協議も踏まえ、今後どのような利

活用を考えているのか。

町長 旧総合運動公園用地内を選定し、白河地方広域市町村圏整備組合の了承を得た。

10月7日に文京地区住民を対象に説明会を開催。反対意見はなく、また鍋内地区、寺内地区からも、問題はないとお話をいただいた。

11月14日に全町民を



現在の矢吹消防署

消防署建設予定地について

答 旧総合運動公園用地内を選定

対象とした説明会でも、異論はなく、理解が得られた。

11月22日に白河地方広域市町村圏整備組合に用地の土地を確保した旨の通知をし、了解を得た。

八幡町の用地は元地権者に返すことで、合意解除に至った。

今後の整備計画スケジュールは、実施設計を行った後、今年度中に造成工事に着手する予定です。

現段階での組合の予定としては、平成31年度に地盤調査、実施設計、平成32年度から平成33年度にかけて庁舎の建設が行われる予定です。

その他の質問

・農業振興について

複合施設の運営体制は

答 年度末に示す

富永 複合施設の運営体制は公民連携とのことだが、運営の顔が分かる具体的方向性は。

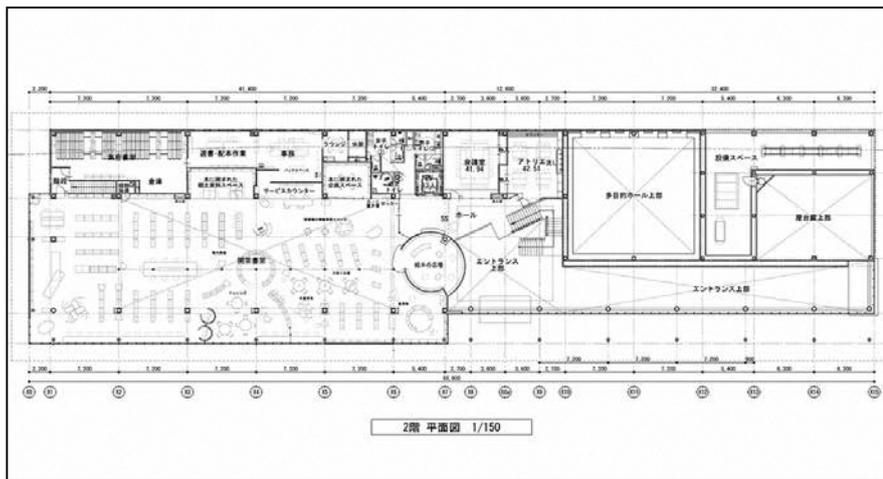
町長 指定管理者制度や包括的民間委託を検討、民間業者、教育委員会、4つの機能、との連携を図る運営体制の原案を年度末に示す。

富永 情報発信の場である町民交流ホールに情報通信技術（ICT）の活用はあるか。

町長 「電子看板」と呼ばれるデジタルサイネージの機器や設置場所の検討を進めている。

町長 複合施設の愛称と組み合わせた表記方法や場所を詰める。

富永 「矢吹町中央公民館」「矢吹町図書館」の文字を残す考えは。



複合施設（図書館部分）の平面図

特別養護老人ホームについて

答 土地の賃借料を支援

富永 「広域型」特別養護老人ホームの経営実現に向けた、他市町村からの負担や支援はあるのか。

町長 支援要請はしていない。他市町村からの支援や負担はないものと認識している。

富永 特養ホーム介護の充実と質の向上を求める目的で、本町はどのように関わられるのか。

町長 特養ホームの指導及び監査は県が実施。町が施設の調査、指導を行うことはない。

富永 町有地10年間賃借料を取らない以外に、本町の負担や支援はあるのか。

町長 町の支援については、土地の賃借料以外の支援の考えはない。

富永 特養ホームへの町支援は大き過ぎる。見直す考えは。

企画総務課長 公益的事業の場合の財産無償貸与等の条例に基づき、無償とする。



その他の質問
・国の方針に左右されない幼保無償化を。



とみなが 富永 創造 議員

道の駅仮設実験店舗について



鈴木 隆司 議員

〔答〕 矢吹総動員で取り組んでいる

鈴木 事業の総予算の内訳と資金使途の内容について伺う。

町長 補助申請額、2875万8000円のうち、地方創生推進交付金の2分の1である、1400万円が交付され、負担金分の1400万円に対する財政措置は、5割が普通交付税、残り5割が特別交付税で措置され、対象外の75万8000円が町負担です。

鈴木 期間中の来場者数と収支について伺う。

町長 現在集約途中です。
鈴木 期間中、運営を委託した団体からの意見や提案、要望等について伺う。
町長 今後開催される第2回仮設実験店舗運営部会で意見を伺い、開業に向けた課題整理と提案をまとめる。



「おいしい矢吹マルシェ」店内の様子

町政を問う（一般質問）

上下水道事業について

〔答〕「矢吹町上下水道経営戦略」を立てている

鈴木 当町の上下水道事業について、民営化や広域連携等を検討しているのか伺う。

町長 広域連携の動向については県が主体となっており、県内全域、地区単位で課題や知識を深めている。

鈴木 人口減少社会が予想されている中、上下水道事業の10年後、20年後の収益シミュレーションと老朽化による修繕費用等の予測はどうなっているのかを伺う。

町長 給水人口を推計した結果、平成38年が1万5750人と、約5%減少を見込んでいます。料金徴収の対象と



水道施設（五本松配水池）

鈴木 民営化、広域連携、官民連携の運営法について、当面町の選択肢をどう考えているのか伺う。

町長 現段階では広域連携を最優先、又経営基盤の強化を図り総合的に検討する。

その他の質問事項
・消防署移転建設について

道の駅推進事業は

答 地域協議会で取り組んでいる



実験店舗オープニング

産業振興課長 各年度
2500万円です。

三村 会の事務局は。

産業振興課長 産業振
興課で担当していま
す。

産業振興課長 町監査
員の監査を受けてい
る。

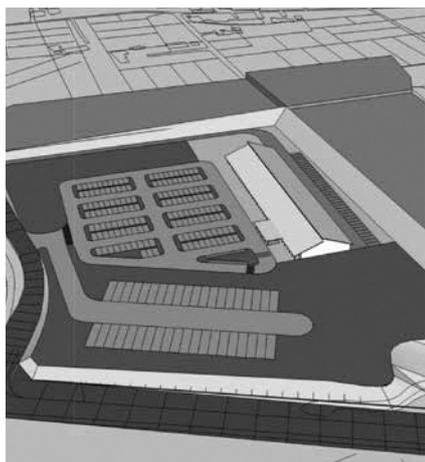
三村 副町長が地域協
議会長、会計が産業振
興課で補助事業の申
請、交付の決定をする
ことは、内部牽制とか
監査ができています。

三村 矢吹町総動員で
やるのであれば、25
00万円を町民みんな
に有効に使うべき、こ
のような丸投げ方式で
は、町民の負担を増や
すだけになるので、道
の駅については、反対
である。

三村 道の駅地域協議
会が補助金を受け、流
通研究所に2490万
円で委託をしているが、
協議会への29年度、30
年度の補助金額はいく
らか。



みむら まさいち
三村 正一 議員



道の駅イメージ図

町道の整備（羽鳥幹線水路敷、新町西道路）

答 舗装工事整備率32%、優先度を高め進める

三村 通学路としても
重要、計画通り32年度
末迄に完成できるの
か。

町長 全長1520m
の内、480mが整備
済、本年度は40mの改
良工事、遅れている理
由は、交付金の要望に
対し50%の内示率の
為。次年度以降優先度
を高め進める。

三村 新町西道路が完
成間近となっている
が、西側エリアの開発
と一体であるべき。大

型店舗の進出、地権者
会についての経過は。

町長 大型店舗と協議
は継続中、早期実現を
目指す。先日、地権者
会の再活動について協
議した。代表者が決定
され協議が進むよう支
援したい。

三村 大型店舗の進出
協議内容について。
産業振興課長 28年6
月から庁舎内で進出予
定先の常務取締役と協
議中。



未舗装の幹線水路敷

その他の質問事項
・特別養護老人ホーム
の利用料金は。

重い国民健康保険税の負担軽減を



やすい たかひろ
安井 敬博 議員

答 今後の運用を見ながら検討します

安井 当町の国保税は県が示した標準保険料より高いのではないかと。差異を示せ。

町長 所得割は県10・03%、町10・64%でプラス0・61%、均等割は県3万4千992円、町3万4千7百円でプラス208円、平等割は県2万2千791円、町3万3千円でプラス1万209円です。

安井 福島県と矢吹町の国保基金の残高は。



保健福祉課長 県は約153億円、町は3億円ですが、先の9月議会で1億1千3百万円を増額する予算措置をしています。

安井 県・町基金残高や、標準保険料率との差異などから、さらなる引き下げが可能では。

保健福祉課長 今年度実績、被保険者数等を見ながら検討をします。

町政を問う（一般質問）

大正ロマンの館、事業評価と

今後の方向は

答 事業終了後に評価し、前回同様の運営

安井 現在の指定管理者が応募しなかった理由は何か。

町長 応募されなかった理由等については、団体としての判断なので、答弁は控えます。

安井 答えられない事情もあると思うが、その事情等を加味した上で、募集要綱等に変更はあったのか。

産業振興課長 目的が中心市街地に賑わいを取り戻すというようなことなので、前回とほぼ同じです。



大正ロマンの館

安井 学習室と会議室を備え、公民館的機能を持つが、臨時休業はなじまないのではないかと。

産業振興課長 休館日は事前に取り決めていますが、それ以外に、やむを得ない場合は、

産業振興課と協議の上、利用者にも知らせることを条件にしています。

その他の質問事項
・無資格マッサージによる健康被害問題について

消防署予定地変更による責任、補償は

答 反対運動は想定外で変更による
損失損害は一切ない

青山 消防署建設予定地への反対運動を町長は予測不可だったと言
うが、全国的に吹鳴等
の訴訟事例が多い。予
測不可は、地域住民へ
の説明無く意思疎通を
欠き、行政執行者とし
て私見に乏しくその責
任が問われるのでは。

町長 弁護士と相談し、町民が望む、歓迎するものに対して反対運動は予測できなかつたので責任はない。建



設予定地の変更で解決済み。

青山 建設予定地の元地権者との契約解除には補償に関する項目がある。今後損失がある場合の補償は町又は、元地権者の要望か。

町長 補償は一年間耕作できなかつた部分と現状回復費用の部分である。損失、損害の発生は、現時点では無いとお互いが確認済み。

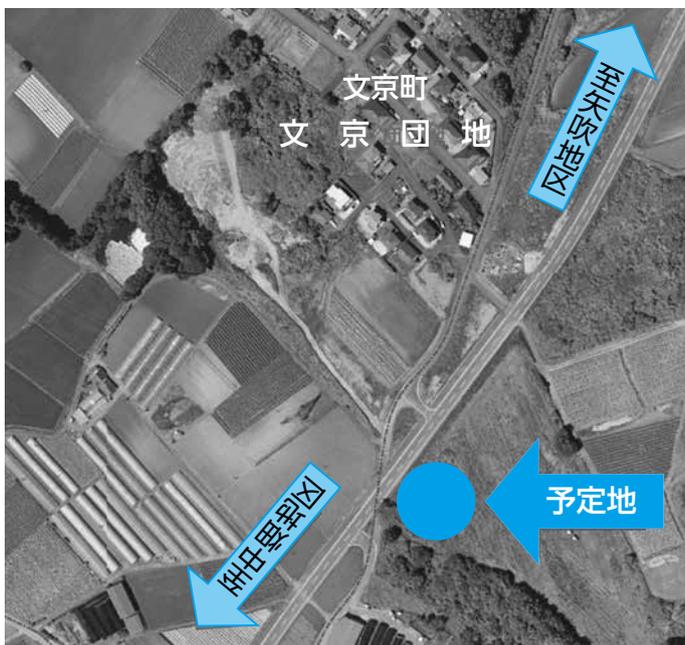
一部議員の意見による意思決定、合意形成か

答 特定の議員の意見を聞く事は問題ない

青山 9月議会の一般質問で、消防署予定地を以後どう対応するのかを質問した。答弁は今後検討する旨だった。町長はこの3時間後に別室で与党会の議員だけを集めて4か所の候補予定地を説明している。与党会所属議員以外の議員は11月30日まで知らされず、不公平、不平等、不透明な町政運営がされた。

地方自治の本旨としての二元代表制、機関対立競争主義の否定である。公共統治、意思決定、合意形成といったガバナンスはどうなっているのか？

町長 あくまでも意見を聞く場。透明性、責任性、ガバナンスにおいても問題ないと思っている。



消防署庁舎移転予定地

あおやま ひでき
青山 英樹 議員

調査した委員

委員長	三村 正一
副委員長	鈴木 隆司
委員	栗崎千代松 加藤 宏樹 安井 敬博 大木 義正

総務教育常任委員会

視察日 平成30年10月3日(水)
視察場所 埼玉県入間市役所
調査案件 子育て包括支援センター

平成32年度末までに設置が求められている、子育て包括支援センターの先進事例を調査しました。

入間市では、児童虐待防止の取組が喫緊の課題であり、0歳児の虐待防止には、妊娠期からのアプローチが必要であることから、センターにおいて妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援体制を実施していました。

- ・妊婦の状況把握の為、母子健康手帳交付時に保健師による面接実施（全妊婦との面接は概ね達成）
- ・面接により要支援者に対する個別プラン作成、サポート体制整備と関係機関との連携・情報共有が行われていました。

当町においても、ワンストップの子育て支援策の具体的な取組が必要であると感じました。



総務教育常任委員会視察

産業民生常任委員会

調査した委員

委員長	鈴木 一夫
副委員長	富永 創造
委員	藤井 精七 熊田 宏 青山 英樹 薄葉 好弘 角田 秀明

視察日 平成30年10月3日(水)
視察場所 産業生産法人株式会社赤城深山ファーム（群馬県渋川市）
調査案件 6次化産業 及び耕作放棄地解消への取組みについて

赤城深山は平成15年から耕作放棄地でのそば作りを開始し、現在は150ha規模のそば専作事業体となり、そば粉の加工・販売を行っている企業農家であります。特徴は、黒化率70%の早刈り、600mの標高差のある耕地分散を逆手に取った作業ピークの平均化、GAPの導入による作業工程管理で、従業員間の情報共有を図っています。

夏秋そばの2期作で年商1億4千万円、27年度に全国農業コンクールで農林水産大臣賞を受賞している。本町における耕作放棄地の対策や6次化商品の開発に大変価値のある調査でした。



産業民生常任委員会視察

議会広報委員会

調査した委員

委員長	富永	創造
副委員長	鈴木	隆司
委員	鈴木	一夫
	加藤	宏樹
	三村	正一

視察日 平成30年10月30日(火)
調査場所 宮城県加美町役場
調査案件 議会広報の編集について

加美町議会の議会広報については、町村議会全国コンクールで平成29年度全国9位の優秀賞を受賞している議会です。

「住民が関心を持ち読んでもらえることを第一に住民と議会のパイプ役との考えに立ち簡潔、公正に努め審議過程の掲載と住民に関係の深いものを重点に取り上げる」編集方針で行われておりました。

議会モニター制度、一般質問の編集方法、一般質問の追跡シリーズ「あれからどうなった」コーナー等の取り組みがなされておりました。

今回の調査は大変有意義なものでした。町民に親しまれる広報づくりに活かしてまいります。



議会広報委員会視察



議長番号 3番
(後半 議長)
善郷小学校
平賀 大道 君

子ども議会に参加して、議会では何をしているのかを知る事ができました。議会でのマナー、特に議場に入る時や議長席に行く時などで、あいさつや礼をする事を知りました。議会では、町長さんや教育長さんなどが、矢吹町を良くするために、答弁をする事が分かりました。僕は議長を務めていたので、質問する場面はありませんでしたが、少し質問をしたかったなと思いました。子ども議会では議員一人一人に役が決まっていて、できる事は限られているんだと思いました。再質問では、答弁を聞いてすぐに対応できるというのがすごいと思いました。議会の質問や答弁の時、ボタンを左手で押して、右手を上げるというシステムがあるのがおもしろいと思いました。議会では普段使わない言葉があって難しい部分もあったけれど、最後まで内容を聞き取ることができました。初めての議会だったので良い経験になりました。



議長番号 4番
(前半 議長)
三神小学校
加藤 諄也 君

僕は、10月26日の「子ども議会」で議長を務めました。議場に入った時は、町長さんや教育長さんなど、とても偉い人がたくさんいたのでとても緊張しました。でも、他の学校の議員さん達も緊張しているように見えたので、「自分だけではないのだ」と少し安心しました。

僕は、リハーサルの時に緊張して早口になってしまい、つまずいたり、かんでしまったりして失敗してしまいました。だから、たくさん練習してゆっくり話すことを意識して議会に臨みました。

名前が呼ばれて、議長席に一步一步行くにつれてとても緊張しました。だけど、練習してきたゆっくり話すことを意識してはっきりと話すと、だんだん落ち着いてきて無事に議会を進めることができました。

今回、議長席に座るなど貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

第13回子ども議会の前半・後半議長

みんなのひろば

二十歳になって



成人式実行委員長

遠藤 耀平

(北町)

中学校を卒業してから5年の月日が流れ、私たちは無事に成人を迎えることができました。これも全て、私たちを支えてくださった皆様のお陰です。本当にありがとうございます。私たちは小学6年生のころ、東日本大震災を経験しました。家も崩れ、町外や県外に避難した人たちも多くいました。そんな辛い状況の中で、矢吹町は、復興に向けた活動や取り組みなどで、これまで以上への発展を遂げ、私たちを支え、守ってくれました。このように、人情に溢れ、田園風景に囲まれた、美しく素晴らしい町で生まれ育つたことを幸福に感じております。

私たちは、仕事や学業など、それぞれが思い描く道を進んでいます。その中でも、失敗や上手くいかない事など、壁が立ちふさがることも少なくありません。それでも、何があっても諦めず、果敢に立ち向かいます。そして、発展を続けているこの開拓の町のように、簡単にめげることなく、常に新たな道を切り開けるような人間であるよう努めようと思っております。

最後になりますが、私たちはまだまだ未熟です。しかしながら、歩みを止めず、さらにますます勇往邁進していきます。これからも、どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。

人事案内



小針 啓幸 (新任)

矢吹町中沖17番地

昭和55年1月24日生

任期 平成31年4月1日～

平成34年3月31日

(3年間)

人権擁護委員

国民の人権侵害を監視・是正し人権思想を広める仕事をします。

1月6日消防団出初め式



編集後記

あけましておめでとう
ございます。

今年は大きな出来事が
目白押しであり、ある意
味変化と激動の一年とな
りそうです。

4月・働き方改革関連法
が施行

・入管法(出入国管
理法)改正

・ゴールデンウィー
ク10連休

5月・新元号の発布

7月・参議院選挙

10月・消費税10%に
皆様にとりまして本年
が輝かしい一年となりま
すよう御祈念申し上げま
す。

今年もよろしくお願
いいたします。

(文責 鈴木一夫)

議会広報編集委員会

委員長 富永 創造

副委員長 藤井 精七

委員 鈴木 隆司

委員 鈴木 一夫

委員 加藤 宏樹

委員 三村 正一